

別紙1 審査基準

審査項目	審査内容
実証内容の妥当性	・業務用 EV を電力需給調整リソースとして活用する背景と課題に対する理解が十分にあるか。 ・実証における EV 利用事業者の業種、実証に用いる車両及び設備等の選定理由が明確であるか。 ・業務用 EV の運行特性を踏まえ、通常業務と両立しながら実証を遂行できる提案となっているか。
事業の実施体制・遂行能力	・事業実施者は、業務実施に要する営業許可、資格等を所持しているか。 ・事業実施者の役割分担が明確であり、実証を円滑に遂行するための実施体制及び連絡体制となっているか。 ・未確定事項がなく、選定後に実施体制を確実に構築できる提案となっているか。
実証規模	・実証に用いる車両及び設備等が事業目的の達成に有益な規模を有しているか。
事業計画	・年度別の工程、設備導入等の予定が具体的であり、スケジュール設定に無理がなく、事業期間内での実証実施が可能な計画となっているか。 ・経費見積は、提案内容を裏付ける内容となっているか。 ・事業終了後も、事業で得られた結果等を活用しながら、持続的・発展的な取組が計画されているか。
データ分析	・実証で得られるデータについて、取得項目、取得方法、評価指標及び管理方法が具体的に提案されているか。 ・得られたデータを整理、分析できる体制が示されているか。
実証による効果	・電力需給調整に当たって、エネルギーマネジメント、デマンドレスポンス、V2X 等を活用した取組が具体的に示されているか。 ・想定される電力需給調整の効果が示されているか。
経営基盤	・組織や人員・資金等の経営基盤は十分か。
自由提案	・業務用 EV を電力需給調整リソースとして活用するための新たな特筆すべき提案があるか。